

愛知県刈谷児童相談センター

# 事業概要

平成29年度版(平成28年度実績)

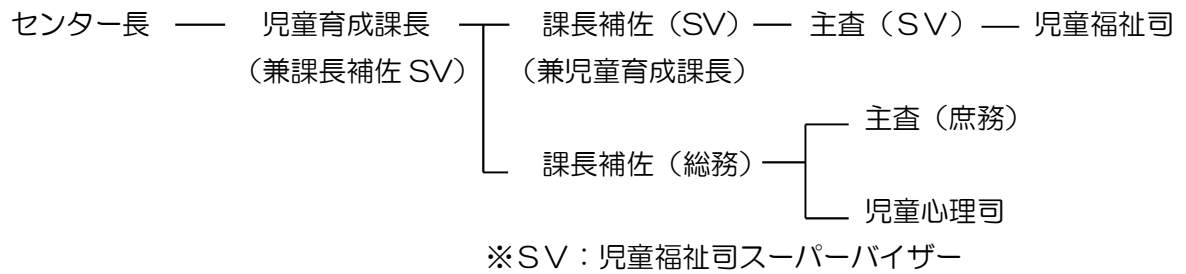


# 目 次

1	機構、職員配置状況および管轄区域	
(1)	機構	1
(2)	職員配置	1
(3)	管轄区域	1
2	業務のあらまし	2
3	相談の種類と主な内容	3
4	全体の概要について	
(1)	受付件数	4
(2)	対応状況（電話相談を除く）	4
(3)	受付件数と対応延べ件数	5
5	養護相談について	5
6	虐待相談について	
(1)	受付件数の状況	6
(2)	対応件数の状況	6
(3)	児童福祉法第28条、第33条の7による申立ての状況	7
7	非行相談について	
(1)	受付件数の状況	8
(2)	対応状況	8
8	要保護児童対策地域協議会設置状況について	
(1)	要保護児童対策地域協議会設置状況	9
(2)	虐待・要支援ケース把握数	9
9	資 料	
(1)	管内の人口と関係機関数	10
(2)	市別・相談種類別受付件数	10

# 1 機構、職員配置状況及び管轄区域

## (1) 機構



## (2) 職員配置

平成29年4月1日現在

センター長	児童育成課長(SV)	課長補佐(総務)	主査(SV)	主査(庶務)	児童福祉司	児童心理司	合計
1	1	1	1	1	11	4	20

## (3) 管轄区域

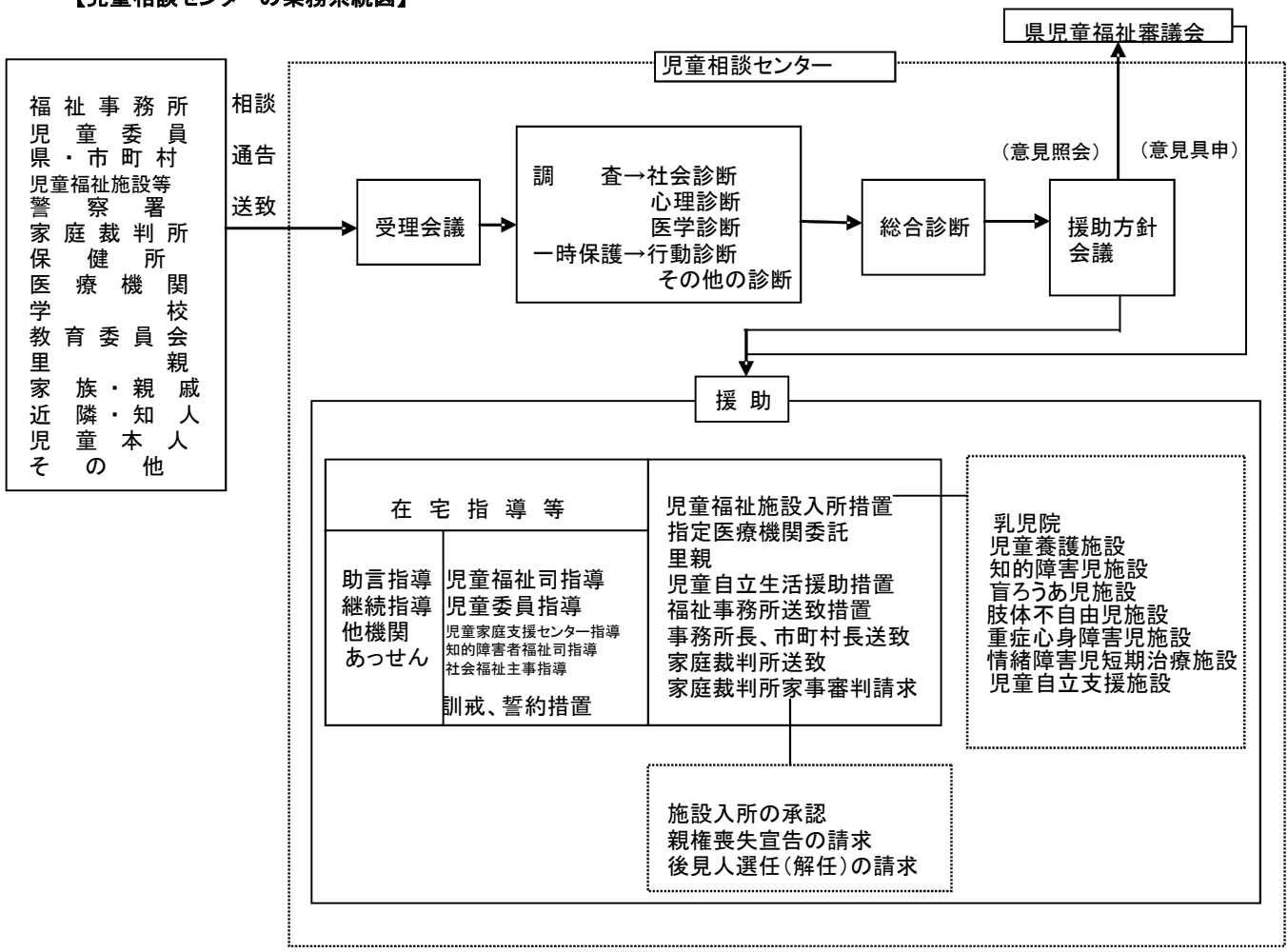
碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市

## 2 業務のあらまし

児童相談センターは、児童福祉法第12条に規定される「児童相談所」業務を行っており、児童福祉のための専門機関として、主として次の業務を行っている。

- (1) 市町村の業務の実施に関し、市町村相互間の連絡調整、市町村に対する情報の提供その他必要な援助を行うこと及びこれらに付随する業務を行うこと。
- (2) 児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応ずること。
- (3) 児童及びその家庭について、必要な調査並びに医学的、心理学的、教育学的、社会学的及び精神保健上の判定を行い、必要な指導を行うこと。
- (4) 児童を児童福祉施設等に入所させ、または里親に委託して、その福祉を図ること。
- (5) 児童の一時保護を行い、また適当な者に一時保護を委託すること。
- (6) 地域における各機関が一体的な活動を行えるよう関係機関のネットワーク化を推進すること。
- (7) 児童の親権者が、その親権を濫用し、又は著しく不行跡であるときは、親権喪失宣告の請求を行うこと。また、必要があるときは、後見人の選任及び解任の請求を行うこと。

【児童相談センターの業務系統図】



### 3 相談の種類と主な内容

大分類	相談の種類	内 容
養護相談	児童虐待相談	<p>児童虐待の防止等に関する法律の第2条に規定する次の行為に関する相談。</p> <p>(1) 身体的虐待 生命・健康に危険のある身体的な暴行</p> <p>(2) 性的虐待 性交、性的暴行、性的行為の強要</p> <p>(3) 心理的虐待 暴言や差別などの心理的外傷を与える行為</p> <p>(4) 保護の怠慢・拒否（ネグレクト） 保護の怠慢や拒否により健康状態や安全を損なう行為及び棄児</p>
	その他の相談	<p>父又は母等保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難児、迷子、親権を喪失した親の子、後見人を持たぬ児童等児童虐待相談以外の環境的問題を有する児童、養子縁組に関する相談。</p>
保健相談	保 健 相 談	<p>未熟児、虚弱児、内部機能障害、小児喘息その他の疾患（精神疾患を含む）等を有する児童に関する相談。</p>
障害相談	肢体不自由相談	<p>肢体不自由児、運動発達の遅れに関する相談。</p>
	視聴覚障害相談	<p>盲（弱視を含む）、ろう（難聴を含む）等視聴覚障害児に関する相談。</p>
	言語発達障害等相談	<p>構音障害、吃語、失語等音声や言語の機能障害をもつ児童、言語発達遅滞、学習障害、注意欠陥多動性障害を有する児童等に関する相談。</p> <p>ことばの遅れの原因が知的障害、自閉症、しつけ上の問題等他の相談種別に分類される場合はそれぞれのところに入れる。</p>
	重症心身障害相談	<p>重症心身障害児（者）に関する相談。</p>
	知的障害相談	<p>知的障害児に関する相談。</p>
	自閉症相談	<p>自閉症若しくは自閉症同様の症状を呈する児童に関する相談。</p>
非行相談	ぐ犯行為等相談	<p>虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のぐ犯行為、もしくは飲酒、喫煙等の問題行動のある児童、警察署からぐ犯少年として通告のあった児童、又は触法行為があったと思料されても警察署から法第25条による通告のない児童に関する相談。</p>
	触法行為等相談	<p>触法行為があったとして警察署から法第25条による通告のあった児童、犯罪少年に関して家庭裁判所から送致のあった児童に関する相談。受け付けた時には通告がなくとも調査の結果、通告が予定されている児童に関する相談。</p>
育成相談	性格行動相談	<p>児童の人格の発達上問題となる反抗、友だちと遊べない、落ち着きがない、内気、緘黙、不活発、家庭内暴力、生活習慣の著しい逸脱等性格若しくは行動上の問題を有する児童に関する相談。</p>
	不登校相談	<p>学校及び幼稚園並びに保育所に在籍中で、登校（園）していない状態にある児童に関する相談。非行や精神疾患、養護問題が主である場合には、それぞれのところに入れる。</p>
	適性相談	<p>進学適性、職業適性、学業不振等に関する相談。</p>
	育児・しつけ相談	<p>家庭内における幼児のしつけ、児童の性教育、遊び等に関する相談。</p>
その他の相談		<p>上記のいずれにも該当しない相談。</p>

## 4 全体の概要について

平成28年度の相談件数は、1,785件で前年度(1,591件)と比較すると12.1%増加している。

相談別では、養護相談が全体の45.5%、障害相談が36.6%を示し、全体の中では高い割合を占めている。次いで育成相談が7.9%となっている。虐待相談については547件で前年度と比較すると16.3%増加している。この背景には、警察からのDV通告による心理的虐待や夜間放置などのネグレクトの増加が考えられる。

### (1) 受付件数

単位：件

区分	26年度	27年度	28年度							計	%
	計	計	碧南市	刈谷市	安城市	知立市	高浜市	管外			
養護	644	725	113	267	237	151	129	18	915	45.5%	
虐待(再掲)	387	470	68	180	145	76	72	6	547	(再掲) 29.5%	
保健	7	2	0	0	2	0	0	1	3	0.2%	
障害	614	624	110	174	219	94	50	6	653	36.6%	
非行	51	39	5	3	13	5	2	2	30	1.7%	
育成	195	195	28	41	39	21	9	3	141	7.9%	
その他	16	6	2	9	17	10	2	3	43	2.4%	
合計	1,527	1,591	258	494	527	281	192	33	1,785	100.0%	

### (2) 対応状況(電話相談を除く)

単位：件

区分	当年度受付	面接指導	訓戒・誓約	児童福祉司指導	児童福祉施設入所	指定医療機関委託	里親委託	家裁送致	その他	当年度処理計
養護	915	832	3	3	40	0	14	0	23	915
虐待(再掲)	547	498	2	0	22	0	9	0	16	(再掲) 547
保健	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3
障害	653	627	0	0	0	0	0	0	12	639
非行	30	14	8	5	1	0	0	0	0	28
育成	141	137	0	0	2	0	0	0	0	139
その他	43	43	0	0	0	0	0	0	0	43
合計	1,785	1,656	11	8	43	1	14	0	35	1,767

## (3) 受付件数と対応延べ件数

単位：件

相談種別	養護 (その他)	養護 (虐待)	非行	障害	育成	その他	合計
受付件数	368	547	30	653	141	46	1,785
%	21.9%	29.5%	1.7%	36.6%	7.9%	2.4%	100%
対応延べ件数	8,274	18,355	890	2,424	1,027	49	31,019
%	26.7%	59.2%	2.9%	7.8%	3.3%	0.1%	100%
1件あたり対 応延べ件数	22.5	33.6	29.7	3.7	7.3	1.1	平均
							17.4

## 5 養護相談について

養護相談・・・父又は母等保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難児、迷子、被虐待児、親権を喪失した親の子、後見人を持たない児童等、環境的問題を有する児童、養子縁組に関する相談

## 理由別対応件数の推移

単位：件

区 分	26年度	27年度	28年度							
			碧南市	刈谷市	安城市	知立市	高浜市	管外	計	
家 出 (失踪を含む)	5	6	0	0	2	2	0	0	4	
死 亡	1	0	0	1	1	0	0	0	2	
離 婚	4	4	2	0	0	5	0	0	7	
疾 病 (入院を含む)	17	24	3	9	9	4	10	3	38	
家庭環境	虐 待 (棄児を含む)	393	453	66	181	142	78	77	3	547
	そ の 他	209	159	40	64	68	44	50	4	270
そ の 他	25	44	0	15	7	19	3	3	47	
計	654	690	111	270	229	152	140	13	915	

(注) 件数は各年度内に処理した件数であり、受付件数とは異なる。

## 6 虐待相談について

### (1) 受付件数の状況

#### ア 経路別受付件数

単位：件

区分	県・市町村			児童福祉施設	警察	里親	学校等	医療機関	家族・親戚	近隣・知人	本人	その他	合計
	福祉事務所等	児童相談所	その他										
件数	41	14	14	10	372	1	18	5	33	36	3	0	547
%	7.5%	2.6%	2.6%	1.8%	68.0%	0.2%	3.3%	0.9%	6.0%	6.6%	0.5%	0.0%	100%

(注)「県・市町村 福祉事務所等」・・・福祉事務所、児童委員

「県・市町村 その他」・・・保健センター、町村、他児相(県内)

「施設・指定医療機関等」・・・児童福祉施設(保育所含む)、旧国立療養所

### (2) 対応件数の状況

#### ア 主な虐待者

単位：件

区分	父		母		その他	合計
	実父	実父以外の父	実母	実母以外の母		
件数	281	46	197	0	23	547
%	51.4%	8.4%	36.0%	0.0%	4.2%	100.0%
	59.8%		36.0%			

#### イ 被虐待児の状況

単位：件

区分	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	合計	(%)
3歳未満	15	35	0	59	109	19.9%
3歳以上就学前	17	25	1	107	150	27.4%
小学生	48	23	4	95	170	31.1%
中学生	25	6	6	45	82	15.0%
高校生・その他	12	2	1	21	36	6.6%
合計	117	91	12	327	547	100.0%
(%)	21.4%	16.6%	2.2%	59.8%		

(注) 1「身体的虐待」・・・殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど。

2「ネグレクト」・・・乳幼児を家に残したまま外出する、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、保護者以外の同居人や自宅に出入りする第三者による虐待を放置するなど。

3「性的虐待」・・・性的行為の強要、性器や性交を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど。

4「心理的虐待」・・・言葉による脅し、無視、兄弟間差別的扱い、子どもの前で配偶者やその他の家族などに対し暴力をふるう、子どものきょうだいに1~4の行為を行うなど。



ウ 対応状況

単位：件

区分	当年度 受付	面接指導			児童福 祉司指 導	児童福 祉施設 入所	指定医 療機関 委託	里親委 託	その他	当年度 処理計
		助言 指導	継続 指導	他機関 斡旋						
件数	547	436	64	0	0	22	0	9	16	547
%	-	79.7%	11.7%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	1.6%	2.9%	100.0%

エ 児童福祉施設への入所状況

単位：件

区分	児童養護 施設	乳児院	児童自立 支援施設	情緒障害児短 期治療 施設	その他 の施設	合計
件数	13	2	0	4	3	22
%	59.1%	9.1%	0.0%	18.2%	13.6%	100.0%

オ 一時保護の状況

区分	27年度		28年度	
	受付計	うち、一時保護を 実施したもの	受付計	うち、一時保護を 実施したもの
件数	470	101	547	72
%	100.0%	21.5%	100.0%	13.2%

カ 児童虐待防止法関係

単位：件

区分	安全確認	出頭要求	立入調査	再出頭要求	臨検・捜索	援助要請	保護者・指導 勧告	全部制限	面会制限	通信制限	住所情報の制限	接近禁止命令
件数	547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 児童福祉法第28条、第33条の7による申立ての状況

第28条申立
2件

親権者の意に反して施設入所等の措置を行う場合の、家庭裁判所による措置の承認を求める申立

第33条の7申立
0件

親権喪失宣告の請求申立

## 7 非行相談について

ぐ犯行為等相談・・・虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のぐ犯行為、問題行動のある児童、警察署からぐ犯少年として通告のあった児童、又は触法行為があったと思われる児童でも警察署から児童福祉法第25条による通告のない児童に関する相談。

触法行為等相談・・・触法行為があったとして、警察署から児童福祉法第25条による通告のあった児童、犯罪少年に関して家庭裁判所から送致のあった児童に関する相談。  
受け付けた時には通告がなくとも、調査の結果、通告が予定されている児童に関する相談についてもこれに該当する。

### (1) 受付件数の状況

#### ア 相談件数

単位：件

	26年度	27年度	28年度
ぐ犯行為等相談	35	21	14
触法行為等相談	16	18	16
合計	51	39	30

#### イ 年齢別件数

単位：件

	就学前	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
ぐ犯行為等相談	0	0	0	0	0	0	1	3	3	2	1	2	2	14
触法行為等相談	0	0	0	0	0	1	3	6	4	2	0	0	0	16
合計	0	0	0	0	0	1	4	9	7	4	1	2	2	30

### (2) 対応状況

単位：件

	28年度受付	面接指導	訓戒・誓約	児童福祉司指導	児童福祉施設入所	指定医療機関委託	里親委託	家裁送致	その他	合計
ぐ犯行為等相談	14	14	0	0	0	0	0	0	0	14
触法行為等相談	16	0	8	5	0	0	0	0	3	16
合計	30	14	8	5	0	0	0	0	3	30

## 8 要保護児童対策地域協議会設置状況について

### (1) 要保護児童対策地域協議会設置状況

平成 16 年の児童福祉法改正により、虐待を受けた児童などに対する市町村の体制強化を図るため、関係機関が連携を図り児童虐待等への対応を行なう「要保護児童対策地域協議会」が設置されています。平成 20 年児童福祉法改正により、対象は要保護児童、要支援児童及びその保護者、特定妊婦まで拡大されました。

管内では下表のとおり協議会が設置されています。

市名	現 況
碧南市	平成 15 年 7 月 3 日「子ども虐待防止ネットワーク・へきなん協議会」を設置。 平成 17 年 7 月 1 日「碧南市要保護児童対策協議会」を設置。 事務局はこども課。年 1 回代表者会議、毎月実務担当者連絡会議を開催。
刈谷市	平成 14 年 7 月 1 日「刈谷市児童虐待防止協議会」を設置。 平成 17 年 10 月 1 日「刈谷市要保護児童対策地域協議会」を設置。 平成 20 年 4 月 1 日「刈谷市要保護者対策地域協議会」を設置。児童部会、高齢者部会、障害者部会、DV 被害者部会（平成 24 年 4 月 1 日）の 4 つの部会で構成。 児童部会の事務局は子育て支援課。年 1 回代表者会議、毎月実務者会議を開催。
安城市	平成 16 年 10 月 1 日「安城市児童虐待防止協議会」を設置。 平成 17 年 10 月 1 日「安城市要保護児童対策地域協議会」を設置。 平成 20 年 4 月 1 日「安城市虐待等防止地域協議会」に名称変更。児童部会、高齢者部会、障害者部会、DV 部会の 4 部会で構成。 児童部会の事務局は子育て支援課。年 3 回代表者会議、毎月実務者会議を開催。
知立市	平成 15 年 7 月 1 日「知立市児童虐待防止ネットワーク協議会」を設置。 平成 19 年 4 月 1 日から「知立市要保護児童対策ネットワーク協議会」を設置。 年 2 回代表者会議、毎月実務者会議を開催。
高浜市	平成 16 年 7 月 1 日「高浜市虐待防止ネットワーク協議会」を設置。 平成 18 年 4 月 1 日「高浜市要保護者対策地域協議会」を設置。 年 1 回代表者会議、毎月要保護児童対策実務者会議を開催。実務者会議は児童・高齢者・障害者の 3 会議で構成。

### (2) 虐待・要支援ケース把握数（平成 29 年 4 月 1 日現在）

市名	市管理ケース		児相管理ケース		その他の機関による 管理ケース	合計
	要保護	要支援	施設措置	在宅継続		
碧南市	31	-	19	8	-	58
刈谷市	28	33	55	14	-	130
安城市	26	-	42	16	-	84
知立市	6	28	46	9	-	89
高浜市	5	15	20	4	-	44

## 9 資料

### (1) 管内の人口と関係機関数

#### <資料1> 管内の人口と関係機関数

	人口 (人)	保育所 (所)	幼稚園 (園)	認定 子ども 園(園)	小学校 (校)	中学校 (校)	特別支 援学校 (校)	家庭相談 員(人)	民生委員 (人)	主任児童 委員(人)
碧南市	72,068	14	5	0	7	5	0	4	103	12
刈谷市	150,135	15	16	0	15	6	0	2	157	12
安城市	187,192	36	13	0	21	8	1	4	202	21
知立市	71,383	15	4	0	7	3	0	3	102	6
高浜市	47,661	8	4	2	5	2	0	1	51	3
計	528,439	88	42	2	55	24	1	14	615	54

(注) 平成29年4月1日現在

### (2) 市別・相談種類別受付件数(平成28年度実績)

区 分	養護相談		保健	障害相談						非行相談		育成相談				その他	計
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚	言語発達	重症心身	知的障害	発達障害	ぐ犯行為等	触法行為等	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ		
碧南市	68	45	0	0	0	0	2	97	11	1	4	6	0	6	16	2	258
刈谷市	180	87	0	6	0	0	9	137	22	2	1	26	3	5	7	9	494
安城市	145	92	2	5	0	0	4	192	18	7	6	26	3	2	8	17	527
知立市	76	75	0	1	0	0	6	78	9	2	3	8	2	1	10	10	281
高浜市	72	57	0	1	0	0	2	43	4	0	2	4	2	3	0	2	192
管外	6	12	1	0	0	0	0	5	1	2	0	1	0	0	2	3	33
計	547	368	3	13	0	0	23	552	65	14	16	71	10	17	43	6	1785